

計算数理工学論文集 投稿要領

日本計算数理工学会

対象 計算数理工学論文集は、計算工学に関わる数理的、または数値的な新しい内容を含む研究論文を掲載考慮対象とする。他の論文誌に投稿中、掲載決定済、または掲載済の論文は考慮対象としない。レビュー論文は依頼投稿として掲載する事もあるが、一般論文としては考慮しない。

投稿資格 特に定めない。

論文原稿 別に定める「原稿執筆要領」に沿って日本語または英語で書かれた論文を、A4 サイズの PDF ファイルにて提出する。頁数は 4 または 6 頁とする。提出するファイルは 3MB を越えないものとする。

論文投稿方法 投稿を希望する著者は

<http://gspsun1.gee.kyoto-u.ac.jp/JASCOME/submit/submit.html>

より投稿を申し込む。論文集編集委員会は投稿申込を受けた場合、著者に速やかに原稿投稿方法の詳細を伝える。

校閲 投稿された原稿は、論文集編集委員会により選定された 2 名の校閲者により校閲される。2 名の校閲者が掲載を適当と判断した場合は採用、2 名とも掲載を不適当と判断した場合は不採用とする。2 名の校閲者の判断が分かれた時は第 3 の校閲者を論文集編集委員会が選定し、当該原稿の採否は校閲者の多数意見に従う。

論文掲載方法 校閲の結果、掲載可となった論文は、直ちに日本計算数理工学会 web page を通して電子的に公開される。また、同論文は、掲載可となった後、最初の計算数理工学論文集の号に掲載される。更に同論文の著者のうちのいずれかの 1 名は掲載可となった後、最初の計算数理工学シンポジウムで、同論文の内容について講演する事を要する。

論文掲載料 論文集へ掲載可と判定された論文の著者は、学会からの請求により、遅滞なく 25,000 円支払う。これは論文集 1 冊と別刷 50 部の代金に充当し、計算数理工学シンポジウムへの参加費は別途とする。

著作権 論文集（印刷、web）に掲載された記事・論文の著作権は原則として本会に帰属する。その際、

1. 著作者自身が、自分の記事・論文等の全文または一部を複製、翻訳・翻案などの形で利用することは妨げない。
2. 著作者は、所属機関（大学、会社、研究機関等）で、自分の論文や発表資料等を電子書庫に保存、または、インターネットで公開を行ってもよい。
3. 第三者からの記事・論文等の複製、あるいは転載に関する許諾の要請があった場合、本会において必要と認めた場合は、著作者に代わって許諾することができる。ただし、原則として著作者の同意を取るものとする。
4. 記事・論文等を上記 1.-3. に定めない方法で他の著作物に利用しようとする場合は、事前に本会へ文書で申し出を行い、許諾を求めなければならない。